

も・み・じ

99

発行：放送大学福島学習センター
機関誌

〒963-8025

郡山市桑野1丁目22-21

TEL 024-921-7471

いわきサテライトスペース

TEL 0246-22-7318

<http://www.ouj.ac.jp>

－もみじの由来－

福島学習センターの建物は、もみじ館と呼ばれ、郡山女子大学発祥の地である。青葉の頃、紅葉の時期それぞれに美しい色どりが心をなぐさめる。当センター機関誌の名称としてまことにふさわしい。

重要!

お知らせ



◆面接授業や学習センター等の重要な情報については、システムWAKABA及び福島学習センターウェブサイトに掲載いたしますので、必ず週に1度はチェックするようにしてください。

◆学習センター閉所日について

福島学習センター及びいわきサテライトスペースの閉所日

毎週月曜日及び祝日・10月11日(火)・11月22日(火)・12月27日(火)～31日(土)

◆学生証・駐車場利用許可証の発行について

学生証は福島学習センター・いわきサテライトスペースともに、10月8日(土)から発行をいたします。詳しくは『利用の手引』で確認してください。また、福島学習センターの駐車場を利用する場合についても、『利用の手引』にて確認してください。

◆通信指導について

通信指導については『学生生活の栞』(学部65ページ、大学院64ページ)で必ず確認してください。提出期間は郵送による提出の場合、2022年11月15日(火)～11月29日(火)必着、Web通信指導による提出の場合、2022年11月8日(火)10:00～11月29日(火)17:00です。通信指導問題が11月4日までに届かなかった場合は大学本部(043-276-5111[学生サポートセンター])に連絡してください。

◆機関誌『もみじ』及び『利用の手引き』の配布方法について

配布方法については、福島学習センターウェブサイト内の「機関誌紹介」(下記URL)に配布方法が掲載されています。配布希望者の方はウェブサイト参照の上、お手続きをしてください。

<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/fukushima/about/magazine.html>



基本的人権としての学習権の行使

客員教員 南 雲 勇 多

ユネスコの学習権宣言というものがあります。戦後、普遍的な基本的人権をうたったものに世界人権宣言がありますが、そこにも明記されていなかった「学習権」を具体的に掲げた国際的な宣言です。1985年の第4回ユネスコ(国際連合教育科学文化機関: UNESCO)の国際成人教育会議を機に出されました。同宣言には、学習権とは「基本的権利の一つとしてとらえられなければならない」と記されています。学ぶこととは何かを獲得するための行為や余暇・余剰を埋めるための行いというだけでなく、そもそも人権そのものであるというのです。

前述のユネスコ国際成人教育会議は約12年に一度開催されてきましたが、同会議が今年の6月にモロッコのマラケシュで開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響もあった中で、対面での参加とオンラインの参加を交えたハイブリッドでの開催となったそうです。NGOスタッフとして日本の市民社会を代表し現地で参加した関係者がいうには、とてもすごい熱気だったそうです。人権としての学習権とその保障について、その重要性や実現へ向けた課題が改めて確認されるとともに、国や地域をこえ、その実現への想いと意思の熱量が共有されていたとのことでした。

放送大学で学ぶお一人お一人は、年齢や場所を問わずその権利を行使している主体として、生活や人生といたったそれぞれの「生」を活性化させているのだと思います。

また、同ユネスコ学習宣言では「学習権とは、読み書きの権利であり、問い続け、深く考える権利であり、想像し、創造する権利であり、自分自身の世界を読みとり、歴史をつづる権利であり、あらゆる教育の手だてを得る権利であり、個人的・集団的力量を発達させる権利である」と説明されています。つまり、学ぶこととは単に読み書きの能力を培い、知識を養うことに留まらず、「問い」を持ったり想像・創造したりする主体性や、さらには「世界を読みとり、歴史をつづる」主体性を獲得(回復)することでもあり、一人ひとりがその権利を有しているのだと捉えることができます。加えて先述の、学習権とは「基本的権利の一つとしてとらえられなければならない」という一文には続けて次のような言葉が示されています。「学習活動はあらゆる教育活動の中心に位置づけられ、人々を、なりゆきまかせの客体から、自らの歴史をつくる主体に変えていくものである」と。

生涯学習とは、生涯にわたりそうした権利を行使し、自身の主体性を発揮しゆく試みであると思います。そして、社会が変動する中であっても、生涯を通し、その社会や人間のあり様に「問い」を立て、また想像・創造することを通して、「自らの歴史をつくる主体」の一人として関わっていく営みであると思います。放送大学で、それぞれの様々な状況・文脈にしながら「いま・ここ」で学びに取り組み、自身の権利を行使している方々とともに、これからも学び合い、歩んでいければ幸いです。

令和4年度 第2学期 ゼミのお知らせ

ーゼミの受講についてー

ゼミは、客員教員がテーマに沿って授業を行います。
ただし、面接授業とは違い、一方的に授業をすすめるものではありません。学生さんとの対話をしながら授業を行っていきます。
1回ごとに行われていますので、途中からでも参加できます。ゼミを受講する場合の申し込み・授業料は不要です。正規の単位にはなりません。積極的な参加をお待ちしております。
※都合により、日程が変更になる場合があります。その都度、館内に掲示してお知らせいたします。なお、日程の確認は電話での問い合わせも可能です。

テーマ「遺跡の保存と活用」



會田 容弘 先生

会場 福島学習センター

講義概要

発掘調査で考古学的価値が明らかになった遺跡の中には史跡に指定され、保存活用される事例があります。市民のみなさんと遺跡はどのようにつながり、利用されることが望ましいのでしょうか。私の個人的経験でかわりのあった史跡里浜貝塚を例にとりながら、遺跡の保存・活用がどのように行われているのか、それが考古学研究の成果とどのように結びついているのかをお話したいと思います。

- 1 10月22日(土) 遺跡発掘の今昔
13:00~14:30 - 昭和・平成・令和の発掘事情 -
- 2 10月29日(土) 里浜貝塚調査の歴史
13:00~14:30 - 100年の重さ -
- 3 11月12日(土) 遺跡活用計画
13:00~14:30 - 奥松島縄文村構想 -
- 4 11月19日(土) 奥松島縄文村歴史資料館の
13:00~14:30 建設と運営
- 5 12月3日(土) 史跡里浜貝塚の調査と保存・活用
13:00~14:30
- 6 12月10日(土) 体験型博物館の問題点
13:00~14:30 - 考古学との関わりの中で -
- 7 1月7日(土) 現代考古学の課題
13:00~14:30 - 何をどのように明らかにしてきたのか -

テーマ「心理学における研究の面白さ」



五十嵐 敦 先生

会場 福島学習センター

講義概要

ゼミの醍醐味は論文講読です。本を読むのも結構ですが、そこに書いてあることはどのように確かめられているのでしょうか。その根拠や前提になる論文と一緒に読んでみましょう。なるべく身近な話題や出来事に関するものを心理学の各領域から取り上げてみます。当日参加でも構いませんが、事前に案内・資料を差し上げますので、目を通していただけるとなおよろしいかと思います。

- 1 10月15日(土) 心理学の世界と研究アプローチを
10:00~11:30 論文から探る
- 2 10月29日(土) 「心理学研究」から
10:00~11:30 (日本心理学会)
- 3 11月20日(日) 「教育心理学研究」から
10:00~11:30 (教育心理学会)
- 4 11月27日(日) 「発達心理学研究」から
10:00~11:30 (発達心理学会)
- 5 12月11日(日) 「パーソナリティ研究」から
10:00~11:30 (パーソナリティ心理学会)
- 6 1月7日(土) 「家族心理研究」から
10:00~11:30 (家族心理学会)
- 7 1月8日(日) 「キャリアカウンセリング研究」から
10:00~11:30 (キャリアカウンセリング学会)

テーマ「私たちが知らない二つのドイツ ーナチスドイツと社会主義ドイツ」



大黒 太郎 先生

会場 福島学習センター

講義概要

経済的繁栄、民主的な政治運営、寛容な社会、そして多くの移民・難民の受け入れー私たちがよく知るドイツのイメージです。しかしドイツには、私たちのよく知らない2つのドイツ、すなわち独裁国家としてのナチスドイツと、社会主義体制としての東ドイツの歴史があります。本ゼミでは、1/2学期1年かけてナチスドイツと東ドイツのドイツ史における2つの体制の様々な側面(日常生活から体制運営まで)を、文献講読と映画鑑賞の2本柱で幅広く学びます。

- 1 10月8日(土) インTRODクシヨ：1学期は「東ドイツ」をテーマとしたので、2学期は「ナチスドイツ」を扱う。担当教員から授業の概要と講読するテキスト、そして見て意見交換する映画について紹介し、プレゼン担当者を決定する。
- 2 10月22日(土) ナチスドイツに関する概説書を読む：ナチスやホロコースト、東欧侵略の歴史についての概説書は多いが、本ゼミでは、石田勇治『ヒトラーとナチ・ドイツ』(講談社現代新書、2015年)を読む。
- 3 11月12日(土) 映画鑑賞と討論①：映画『ヒトラー権力掌握への道』(2015年)：ドイツが第1次世界大戦で敗北してからナチスとヒトラーが権力を掌握するまでのドキュメンタリー。
- 4 11月26日(土) 映画鑑賞②と文献講読：映画『夜と霧』(1956年)、「シンドラーのリスト」(1993年)：ホロコーストの歴史を扱った映画は数多いが、制作に40年の年月を挟んだ歴史的佳作2作を同時に見てみる回。

令和4年度 第2学期 ゼミのお知らせ

一ゼミの受講について一

ゼミは、客員教員がテーマに沿って授業を行います。
ただし、面接授業とは違い、一方的に授業をすすめるものではありません。学生さんとの対話をしながら授業を行います。
1回ごとに行われていますので、途中からでも参加できます。ゼミを受講する場合の申し込み・授業料は不要です。正規の単位にはなりません。積極的な参加をお待ちしております。
※都合により、日程が変更になる場合があります。その都度、館内に掲示しお知らせいたします。なお、日程の確認は電話での問い合わせも可能です。

- | | | |
|---|--------------------------|--|
| 5 | 12月3日(土)
10:00~11:30 | 映画鑑賞と討論③:『白バラの祈り:ゾフィー・ショル、最後の日々』(2005年):ナチ体制下においても、体制打倒を訴えるドイツの若者抵抗グループがあった。仲間を守り、ドイツの良心を守るためにゾフィーはどう生きたか。 |
| 6 | 12月10日(土)
10:00~11:30 | 映画鑑賞と討論④:『ヒトラー最後の12日間』(2014年):敗北が不可避となり、ソ連軍が近づくベルリンの地下要塞で、ヒトラーが過ごした最後の12日。ヒトラーの秘書が戦後告白したヒトラーの狂気とその無力を描く。 |
| 7 | 12月17日(土)
10:00~11:30 | 映画鑑賞と討論⑤:『帰ってきたヒトラー』(2015年):ヒトラーが現代の繁栄と民主主義の時代に蘇る。コメディのようである、現代社会への鋭い警告が込められた、新しい時代の「ナチス」をテーマとした映画。 |

テーマ「英語を通して考える

Sustainable Development Goals」



福富 靖之 先生

会場

福島学習センター

講義概要

1学期に続いて、Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)がコロナ禍にある現在どのような進捗状況にあるのかを、国連が発行しているThe Sustainable Development Goals Report 2021を読むことで確かめていきます。世界規模でのパンデミックがSDGsの達成可能性にどう影響しているのか、また今後われわれは何を心がけるべきなのかを考えてください。資料は<https://unstats.un.org/sdgs/report/2021/>から入手できます。

- | | | |
|---|--------------------------|--|
| 1 | 10月16日(日)
10:00~11:30 | Goal 9: INDUSTRY, INNOVATION AND INFRASTRUCTURE(産業、技術革新、そして社会基盤) |
| 2 | 10月23日(日)
10:00~11:30 | Goal 10: REDUCED INEQUALITIES(不平等をなくそう)
Goal 11: SUSTAINABLE CITIES(住み続けられるまちづくり) |
| 3 | 11月6日(日)
10:00~11:30 | Goal 12: RESPONSIBLE CONSUMPTION & PRODUCTION(つくる責任と使う責任) |
| 4 | 11月13日(日)
10:00~11:30 | Goal 13: CLIMATE ACTION(気候変動に対する対策) |
| 5 | 12月4日(日)
10:00~11:30 | Goal 14: LIFE BELOW WATER(海の豊かさを守ろう)
Goal 15: LIFE ON LAND(陸の豊かさを守ろう) |
| 6 | 12月18日(日)
10:00~11:30 | Goal 16: PEACE, JUSTICE AND STRONG INSTITUTIONS(平和と公正をすべての人に) |
| 7 | 12月25日(日)
10:00~11:30 | Goal 17: PARTNERSHIPS FOR THE GOALS(パートナーシップで目標を達成しよう) |

テーマ「SDGsと子ども」



南雲 勇多 先生

会場

いわきサテライトスペース

講義概要

SDGs(持続可能な開発目標)という言葉やそのロゴを至る所で見かけるようになりました。SDGsの制定過程やその後の様々な議論では、目標達成の中心的な役割を担う存在として子ども・若者が着目されました。また、達成すべき17の目標と169のターゲットは当然子どもにも関わります。一方で、子どもは社会課題を解決する主体者として、また社会づくりの一員としてその権利を保障されているのでしょうか。情報提供などをもとに、ともに議論し考えていきたいと思います。

- | | | |
|---|--------------------------|-----------------------------|
| 1 | 10月15日(土)
15:00~16:30 | 導入: SDGsとは何か・子どもの権利との関係 |
| 2 | 10月29日(土)
15:00~16:30 | SDGsにみる子どもの権利侵害 |
| 3 | 11月12日(土)
15:00~16:30 | SDGs達成と子ども参加 |
| 4 | 11月26日(土)
15:00~16:30 | SDGsを子どもの権利の視点から問うてみる① |
| 5 | 12月17日(土)
15:00~16:30 | SDGsを子どもの権利の視点から問うてみる② |
| 6 | 12月24日(土)
15:00~16:30 | SDGsを子どもの権利の視点から問うてみる③ |
| 7 | 1月7日(土)
15:00~16:30 | SDGsと子ども: 子どもの権利の視点からのふりかえり |

学生サークル紹介

Book Club



Book Club発表後の楽しみ

Book Club 島宗 義郎

現在、「Book Club」で私にとって5冊目となるF.Scott Fitzgerald著「The Great Gatsby」を会員の方々と読んでいます。担当の第Ⅲ章の前半は前期に何とか終えました。英米小説の原書の邦訳に取り組み始めて、小説は人と人の係わりを物語としていると実感しています。しかし、小説の第Ⅲ章の記述には何か漠然さを感じ、理解出来ていない思いでした。

冒頭の文章「There was music from my neighbour's house through the summer nights.」①を手がかりに「The party has begun.」⑤迄を検討しました。語り手「I」はNickと分かり、隣人はギャツビーです。音楽に関する表現では、7時までにオーケストラが到着して「By seven o'clock the orchestra has arrived.」②、楽器はそれぞれ複数のオーボエ、トロンボーン等です。今、オーケストラは「and now the orchestra is playing yellow cocktail music」③と演奏を続けており、突然の出来事に、オーケストラのリーダーは親切にリズムを変更し「the orchestra leader varies his rhythm oblongingly for her.」④、パーティは始まっていた「The party has begun.」⑤と続きます。

さて、最初の①から②の前迄は「過去形」で記述され②から⑤までは「現在進行形」、「現在形」と「現在完了形」です。さらに、語り手の「I」(私：ニック)は①と②の時間帯で、お客達が海にダイビングするのを見たと言っています。その後は「I」(ニック)としては出てきません。しかし、オーケストラの到着は分かった様な表現で、その演奏曲目を間近で聴いていると感じました。突然の出来事とオーケストラリーダーによる機転は、大広間、サロンやバー同様に臨場感が伝わってきます。著者はニックにその場の実況中継を語り手の存在を消した形で表現させたのではと思いました。

通常、小説では語り手は「I」(私)と明示し過去を語っています。この小説では読者に、ある場面が目の前に実在すると言葉で表現していると感じます。ある場面はギャツビー邸のパーティです。私はジェーン・エアの一節に「小説の新しい章は演劇での新しい場面に何か似た様なものである」との言葉を思い出し、この考えに照らしてみると、「The Great Gatsby」の第Ⅲ章の冒頭の記述方法はパーティの場面を読者に実感させたい表現なのだろうと理解しました。英米小説の邦訳と併せて視点を変えた発表後の復習も「Book Club」の楽しみです。

参考文献

1. F.Scott Fitzgerald The Great Gatsby, Penguin, 2012.
2. Charlotte Brontë Jane Eyre, Penguin, 2006.



【所長カフェのご案内】

所長カフェはコーヒー、紅茶を片手に気軽に参加できるゼミです。月1回中下旬の木曜日、13時30分～15時30分くらいで開店します。興味関心のあること、「疑問に思っていることを調べてレポートにまとめてみたい」、「卒業研究に挑戦してみたい」と考えている方は少なくないと思いますが、いざやるとなると「テーマをどのように設定したら良いかわからない」、「自分なりの見方や考え方を持てない」と悩んでいる方もいるのではないのでしょうか。こうしたことに1人で向き合うのは容易ではありません。2学期の所長カフェは、1学期に引き続き、1人1人が立てた問いや調べてきたことを相互に共有しながら自分なりの見方をつくる・発展させる場としたいと思います。カフェ終了時には、所長カフェに参加していない方も含め、学習成果を「報告集」として刊行することを計画しています。関心の異なる方々との交流は自分の知らない世界を発見する窓口となるでしょう。少し覗いてみようという方でも歓迎します。

10月27日 ガイダンスと交流

11月24日 第1回 興味関心・疑問を語りあう

12月22日 第2回 課題の整理

1月27日 第3回 課題の発展

※27日は金曜日ですので、御注意ください。

2月16日 第4回 発表・批評



面接授業 開設科目一覧

2022年度2学期福島学習センター開設科目

科目コード	科目区分	時 間	科 目 名	担当講師	備 考	実 施 日	不測の事態
2602717 320(中級)	専門科目 生活と福祉	1 時限～4 時限 (9:30～ 16:40)	生活の経営	角間 陽子	受講前の準備学習等、学生持参物：シラバスをご確認ください。	10月15日(土) 10月16日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2602806 320(中級)	専門科目 情報		技術変革と私たちの生活	葉田 善章	受講前の準備学習等、学生持参物：シラバスをご確認ください。	10月15日(土) 10月16日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2601761 320(中級)	専門科目 心理と教育	1 時限～4 時限 (9:30～ 16:40)	心理学実験 1	木暮 照正	受講前の準備学習等：シラバスをご確認ください。	10月22日(土) 10月23日(日)	閉講
2602741 320(中級)	専門科目 心理と教育	1 時限～4 時限 (9:30～ 16:40)	発達障害について考える	佐藤 佑貴	受講前の準備学習等：シラバスをご確認ください。	10月29日(土) 10月30日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2602776 320(中級)	専門科目 人間と文化		宮沢賢治文学を読む	高橋 由貴	受講前の準備学習等：シラバスをご確認ください。教科書指定有。学生持参物：教科書持参。	10月29日(土) 10月30日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2602725 320(中級)	専門科目 生活と福祉	1 時限～4 時限 (9:30～ 16:40)	現代の生活と福祉	鈴木 勲	受講前の準備学習等：シラバスをご確認ください。	11月5日(土) 11月6日(日)	閉講
2602768 320(中級)	専門科目 社会と産業		福島県の土木史 安積疏水を主に	知野 泰明	受講前の準備学習等、学生持参物：シラバスをご確認ください。	11月5日(土) 11月6日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2602695 120(中級)	基盤科目 外国語	1 時限～4 時限 (9:30～ 16:40)	NHK国際TV映像で 学ぶ英語	松浦 浩子	受講前の準備学習等、学生持参：シラバスをご確認ください。教科書指定有。	11月12日(土) 11月13日(日)	閉講
2602733 320(中級)	専門科目 生活と福祉		介護とストレス対処	廣野 正子	受講前の準備学習等：シラバスをご確認ください。	11月12日(土) 11月13日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2602750 320(中級)	専門科目 心理と教育	1 時限～4 時限 (9:30～ 16:40)	学級経営	折笠 国康		11月19日(土) 11月20日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2602784 320(中級)	専門科目 人間と文化		構図で語る ストーリーのある絵画	早川 仁	学生持参：シラバスをご確認ください。	11月19日(土) 11月20日(日)	閉講
2602709 120(中級)	基盤科目 保健体育	1 時限～4 時限 (9:30～ 16:40)	生涯スポーツ論	蓮沼 哲哉	受講前の準備学習等、学生持参物：シラバスをご確認ください。	11月26日(土) 11月27日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2602849 420(中級)	総合科目		未来につなぐ里山の 暮らし・文化	遠藤由美子／菅家 博昭 石井 絹江／菅野 正寿		11月26日(土) 11月27日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2602792 320(中級)	専門科目 人間と文化	1 時限～4 時限 (9:30～ 16:40)	明治前期郡山の地域振興	徳竹 剛	受講前の準備学習等：シラバスをご確認ください。	12月3日(土) 12月4日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2602814 320(中級)	専門科目 自然と環境		雪と建築	山形 敏明	受講前の準備学習等、学生持参物：シラバスをご確認ください。	12月3日(土) 12月4日(日)	閉講
2601486 320(中級)	専門科目 心理と教育	1 時限～4 時限 (9:30～ 16:40)	心理検査法基礎実習	木暮 照正	受講前の準備学習等、学生持参物：シラバスをご確認ください。	12月10日(土) 12月11日(日)	閉講
2602822 320(中級)	専門科目 自然と環境		月の科学と探査	大竹真紀子	受講前の準備学習等：シラバスをご確認ください。	12月10日(土) 12月11日(日)	閉講
2602830 320(中級)	専門科目 自然と環境	1 時限～4 時限 (9:30～ 16:40)	野生動物管理学	望月 翔太	受講前の準備学習等：シラバスをご確認ください。	12月17日(土) 12月18日(日)	閉講

※敬称略。学生間の間隔を確保するため通常の定員を15名としています。担当講師の指定がある場合は15名よりも少ない場合があります。また、同日開講の科目がない場合は教室を広く使い定員を多くしている科目もあります。

※日程、不測の事態の授業形態については変更になることがあります。不測の事態が起こらない限り、原則は通常通り対面式の授業となります。

2022年度2学期いわきサテライトスペース開設科目

科目コード	科目区分	時 間	科目名	担当講師	備 考	実 施 日	不測の事態
2602873 320(中級)	専門科目 生活と福祉	1 時限～4 時限 (9:30～ 16:40)	貧困と社会保障	前田 佳宏	受講前の準備学習等、学生持参物：指定テキスト。教科書指定有。	11月5日(土) 11月6日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2602903 320(中級)	専門科目 人間と文化	1 時限～4 時限 (9:30～ 16:40)	クラシックから学ぶ 音楽入門	長瀬 賢弘	受講前の準備学習等、学生持参物：シラバスをご確認ください。	11月12日(土) 11月13日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2602890 320(中級)	専門科目 社会と産業	1 時限～4 時限 (9:30～ 16:40)	経営学の学び方	下境 芳典	受講前の準備学習等、学生持参物：シラバスをご確認ください。	11月19日(土) 11月20日(日)	Web(Zoom) 授業で開講
2602881 320(中級)	専門科目 心理と教育	1 時限～4 時限 (9:30～ 16:40)	教育とこころ	野内 友規	受講前の準備学習等、学生持参物：シラバスをご確認ください。	12月3日(土) 12月4日(日)	閉講
2602865 120(中級)	基盤科目 保健体育	1 時限～4 時限 (9:30～ 16:40)	生涯スポーツの実践	大関 貴久	学生持参物：シラバスをご確認ください。	12月10日(土) 12月11日(日)	閉講
2602857 110(初級)	基盤科目 外国語	1 時限～4 時限 (9:30～ 16:40)	はじめての韓国語講座	山田 紀浩	受講前の準備学習等、学生持参物：シラバスをご確認ください。	12月17日(土) 12月18日(日)	閉講

※敬称略。学生間の間隔を確保するため定員を14名としています。※日程、不測の事態の授業形態については変更になることがあります。担当講師の指定がある場合は14名よりも少ない場合があります。不測の事態が起こらない限り、原則は通常通り対面式の授業となります。

福島学習センター・いわきサテライトスペース開設科目に係る 面接授業追加科目登録申請について

～まだ空席がある面接授業(スクーリング)について履修者を追加募集しています～

●面接授業について

面接授業(スクーリング)は、教室などで教員から直接受ける授業のことをいいます。面接授業は全て、1科目1単位です。全科履修生は、卒業するために面接授業又はオンライン授業の単位を20単位以上修得する必要があります。選科・科目履修生は必修ではありませんが、自分の学習したい内容にあわせて面接授業を受講することができます。空席のある科目について追加で科目登録ができますのでご案内いたします。

教科書・参考書について

教科書は講義の中で使用するものです。必ず各自で購入してください。教科書がないと授業だけでなくレポートの執筆にも影響することがあります。

参考書は必ず購入しなければならないものではありませんが、講義を理解するうえで参考になるものです。学習センター図書室で閲覧できるものもあります。

学生教育研究災害傷害保険について

要保険加入の科目は「学生教育研究災害傷害保険」加入者を対象としていますので、未加入の方は必ず前日までに最寄学習センターにて加入してください。

開設科目の確認

- ・面接授業開設科目一覧
- ・面接授業時間割表[北海道・東北ブロック]
- ・放送大学ホームページ
- ・システムWAKABA
- ・学習センター掲示

※福島・いわき以外で開設の面接授業については開設する学習センターに問い合わせてください。

●申し込み方法

空席を確認してください

空 席 発 表 令和4年10月15日(土) 12時

●開設科目の空席状況が発表になります。

学習センター・サテライトスペースの掲示板・ホームページ・電話(024-921-7471)で確認できます。

希望する面接授業の事前申請をしてください

事前申請期間 令和4年10月15日(土)～19日(水)

●郵送または直接来所して事前申請をしてください。 電話・FAX・Eメールによる受付はできません。

	来 所	郵 送
必要なもの	科目追加登録申請書 学生証(学生証持参なら 代理人でも可)	科目追加登録申請書 (学生証写し添付)
申請方法	福島学習センター及び いわきサテライトスペース へ学生証を持参して来所 する	福島学習センターへ封 書の表に「科目追加登録 申請書在中」と朱書きし 郵送

追加科目登録者を決定します

●事前申請者に対し、申請の結果(可否)を登録開始日の10月20日(木)、10時30分～12時の間に電話で連絡します。

なお、この時間に連絡がとれなかった方は、15時までに024-921-7471まで電話してください。

上記以後、追加科目登録期間が変わります

10月～12月開講の授業：10月20日(木)～科目ごとに定められた追加登録受付
期限日

授業料について

●授業料の支払について

納付は学習センター窓口又は郵送でお願いします。なお、追加科目登録受付期間中、空席が生じている科目については、先着順で受け付けいたしますので、授業料を添えて申し込んでください。

●授業料を郵送する場合

- 【授 業 料】 ◆現金書留又は郵便為替 5,500円
【返信用封筒】 ◆宛名明記
◆84円切手添付
◆長形3号

空
席
発
表

事
前
申
請
期
間

追
加
登
録
発
表

追
加
科
目
登
録
受
付
期
間

2022年度（令和4年度）第2学期

面接授業 (_____ 学習センター
サテライトスペース 開設科目) 科目追加登録申請書

学 生 番 号		-				-
---------	--	---	--	--	--	---

氏 名		
連 絡 先	〒 ー	電 話： () メール：

学生証（写）貼付欄

〈郵送の場合は、学生証（写）の添付のない申請書は無効です〉

○一度登録した科目の変更・取消、授業料の返還はできませんので、あらかじめご了承ください。

○追加登録申請書は郵送する前に必ず
(写) をとり保管しておいてください。

希望	科 目 コ ー ド	クラス	科 目 名	第1回目の日程
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				

備考